

碩心

題字は松井岳洋筆

No. 388

平成20年3月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206

Tel/Fax.046-875-3723

舞台上での心構え

広報 磯村 岳朋

吟は、礼に始まり礼に終わるといいます。舞台に出るにあたり十分稽古をし当日は、自信を持って会場へ、きちんと時間を守り受付を済ませ、出吟番号の10番前には舞台裏へ、進行に番号札を出し自分の出番まで静かに待ちます。

まず服装の乱れや髪や髪等の事前にチェックします。気持ちも落ち着けるため、大きく深呼吸する、声を出す為には運動と同じでまず柔軟体操をしましょう。肩から余計な力を抜き、身体も喉も柔らかくしておきます。余分な力を抜いた声はよく響き、よく伸びます。二句三息も容易にできるはずです。

さて舞台に出る時も、姿勢を正し静かにマイクに向かいます。呼吸を整え、マイクから30センチぐらい離れて、礼をする、マイクと口が拳骨一つぐらい明けて立ち、コンダクター

ーや尺八の伴奏に合わせて吟題、作者名を、自分の高さで、早くも無く、遅くも無いテンポで確り声を出して言います。息を深く吸って一度留め、吟に入ります。強い詩でも、始めから力を入れて声を出してはいけません。例えば『ホンノウジー』の一節目は、ホは軽く『ンノウジー』と腹筋を使って声を出します。これは、自分で練習して下さい。

吟題、作者名、第一声(一節目)これがうまく出来れば、もう大成功です。吟が終わる礼をして指定された方向に、静かに退場します。後先になりましたが、舞台に出る時は自分でひとつテーマを持って練習する事も大切です。どの吟も必ずいやだなと思う箇所があります。それがクリア出来れば自信もつきます。その吟が好きになります。

常識かも知れませんが、客席から見て右が上手、左が下手となります。舞台で失敗しても、それを次の課題として練習すれば、無駄ではありません。失敗は成功もとです。

行事予定

春季審査会

日時・3月20日(木) 9時半開場

場所・葉山町福祉文化会館大会議室

全国認可団体長吟道大会

日時・3月30日(日) 9時30分開場

場所・日本教育会館一ツ橋ホール

鎌倉市詩吟舞連盟春季大会

日時・4月6日(日) 13時受付

場所・鎌倉福祉センター

逗子市詩吟舞連盟春季大会

日時・5月10日(土) 9時半開場

場所・逗子なぎさホール

碩心会総会

日時・5月11日(日) 18時

場所・ランチルーム(スリッパ持参)

神奈川岳風連合会青少年吟道大会

日時・6月1日(日) 9時受付

場所・神奈川公会堂

温習会

日時・6月8日(日) 9時半開場

場所・葉山町福祉文化会館ホール

神静地区吟道大会

日時・6月22日(日)

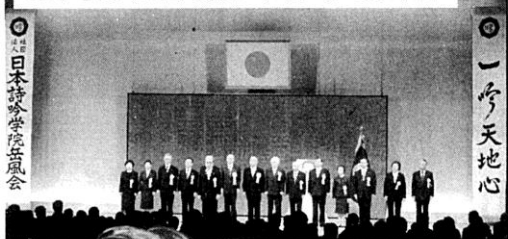
場所・三島市民文化会館

全国優秀吟者吟道大会終わる

第14回全国優秀吟者吟道大会が去る3月9日(日)、明治神宮会館大ホールに於て例年通り開催されました。

全国大会の為会場は満席でした。今回から成績上位者による決戦の吟題が、課題吟以外のものでなりました。出吟者は、この日迄体調を整えて、稽古に励み2分弱で結果が出てしまいます。みな落ち着いていてあがる人は誰もいません。堂々と自分の吟を発表。勿論聞く方も真剣で、吟者が出てくると場内は水を打ったように静まり終わると大拍手が起き、その熱気で暑かった。次々素晴らしい吟者が出てくるので、うっとり聞いていました。声量・詩心・迫力・間・口の聞きなど、みな厳しく評価されていました。皆美声なので余韻を伸ばし過ぎる、という批評もありました。碩心会員の出吟がないのがとても残念に思いました。

第14回全国優秀吟者吟道大会



開放施設見学会

逗子小開放教室の見学会が2月9日(土)、逗子小学校開放施設内のランチルームに於て開催されました。



吟教室風景を設定し、一般市民や子供をお誘いして、詩吟体験学習をして頂くと言う事でした。会員の協力も有り初めてでしたが、確かな手ごたえも有りました。入会募集のほりが印象的でした。

初めての試みでしたので、碩心会は、普及部の行谷隆風先生を中心に、宣伝も兼ねて、日頃の活動状況と他の使用団体や、市民とのふれあいを目的として開かれました。平素の詩



脳細胞の減少と戦いながら

渚支部 山下 信 泉

昨年4月に四段の許証を頂きました。毎回ですが、審査会の数ヶ月前からその事が頭から離れず、家でも街を歩いている時でさえ、口ずさんでしまう次第です。

一年前の事、朝方目が覚め布団の中で練習をしました。前日より嫁いだ娘が帰っていましたが、家内に娘が、お父さんが夜中大きな声で唸っていたけれど大丈夫？と真剣に心配していたそうです。今のところは大丈夫と、詩吟の事を説明しホットしたそうです。

審査会・発表会にしても一番の恐れは、頭真白の「詩文」のド忘れです。脳細胞は140億個有ったものが加齢とともに、日に10万個使えなくなりその為に「顔を見ても名前が出ない」となってしまうそうです。

細胞の減少を抑えるには、常に脳に刺激を与え、鍛える事が大切との事です。詩文を覚え、独吟の緊張はまさに良薬と言えます。

来年3月には中伝の査定となります。それに向け又脳細胞の刺激が始まりますが、この減少阻止の努力が限界になった時、私は退会届の筆を取るでしょう。それまでは、周りにお世話になりながら、脳細胞の減少と戦い、詩吟と付き合い続けて行きたいと思えます。

■雅号の伝号について

碩心会の年間行事の中で、春と秋に行われる審査会では、受審の為に詩文の暗記や節調に、苦勞されたことは誰でも経験することです。それだけに努力の甲斐あつて許証を手にした時の感動も又深いものがあります。そこで許証の雅号に用いられている「伝号」について、最近入会された皆様にお話したいと思っています。

この不動文字は、木村岳風先生が定められたもので、先生は郷里に聳える霊峰八ッ岳をこよなく愛され、吟道の修業をこの登山に見たてられたものであります。都会の雑踏をさげ、広々とした効外の平地を進み、山の麓に着くと地下水が湧き出ている。その生命現象から「泉」をもつて初伝とし、一步一歩高きを求め、下界を離れた所を中伝に「山」を置き、更に登るにつれ視界千里、俗塵払う天地の境に到りて奥伝「風」とし、いよいよ高く険しい岩石多く、草木又稀な高地に及んで皆伝「下位岳」とし、更に精神と努力を重ね、岳風流統の奥儀を極めた門下生に対し「上位岳」を贈つて総伝と定められたものであります。

特に先生の「岳、風」の一字をいただくもの、心を新に、岳風流統の研鑽に不断の努力を積んで、後進の指導育成と、斯道の普及奨励に、尽くしたいものです。

わたしの雅号の由来

東伏見支部 有友 嘉風(嘉紀)

平成19年10月に八段の許証をいただき早いもので詩吟を始めて12年近くになりました。このたび雅号の由来を書けとの仰せをいただきましたが私の雅号は初伝時の泉号から現在の風号まで多くの吟友の方々と同様に本名の一字を入れ「嘉風」としています。何の変哲もありませんが、親がつけてくれた名前を大切にすることは子供の責任であり親孝行の一つであるとの考えに基づいています。

嘉風の「嘉」の字の意味には「めでたい」「よろこぶ」「よい」「よろしい」「美しい」「さいわい」等があるようで、これらの意味とたまたま私が紀元二千六百年に長男として誕生したのでその時の両親の喜びと将来への期待(?)を込めて「嘉紀」と命名したと思われれます。このような理由により今後吟道を続けていく限り雅号には「嘉」の字を入れていく所存でおります。

東伏見支部 山田 遼岳(量一)

私の姓名は山田量一です。表から読んでも裏から読んでも同じです。所謂左右対称で、裏表無く左傾せず、右翼になること無く、真

直ぐに伸びよという両親の願望を籠めて名付けられた有難い名前です。ということ、量を大事にして量泉、量山、量風と名乗ってまいりました。

この度、齢80にしてやっと皆伝の岳を頂いたので、四角四面の量を卒業して新たなリョウに進化しようと考えました。

また、山田という普遍的な姓のおかげで、小学校以来社会に出てからも殆んど山田と呼ばれることは無く、リョウウチャン、りょうさんと呼ばれて参りましたのでリョウウからは絶対に離れられません。

そこで、最も好きで尊敬している司馬遼太郎の遼を頂戴して遼岳とした次第です。また、前途遼遠のリョウウでもあります。遼かなる岳の道を一歩ずつ歩を高くしてゆきたいものです。光景が開けるように。

お詫びと訂正

No.387号に間違いが有りました。お詫びして訂正致します。

根岸啓岳 ↓ 根岸京岳に P.4

真名支部 ↓ 真名瀬支部に(写真) P.2

会員のうごき紹介者鈴木康夫 ↓ 鈴木康史に



| 平成20年(碩心会初吟会)収支決算書 | | | |
|--------------------|---------|---------|--------------------------------------|
| 日時 平成20年1月20日(日) | | | |
| 会場 葉山町福祉文化会館 | | | |
| 収 入 | 前年度繰越金 | 16,808 | |
| | 参加費 | 540,000 | 135名×4,000円 |
| | ご祝儀 | 10,000 | 臼井岳瑠、新総伝より5名 |
| | 合計 | 566,808 | |
| 支 出 | 料 理 | 444,000 | お弁当 138名×2,000円、 オードブル、ケーキ、コーヒー 他 |
| | 飲 物 | 45,595 | 酒、ビール、ウーロン茶 他 |
| | 会場使用料 | 21,570 | 会議室使用料、設備使用料 |
| | 参加費 | 15,000 | 余興参加費 130個 |
| | お車代 | 2,000 | 来賓者、臼井岳瑠 |
| | 保 険 | 3,656 | 傷害保険 |
| | お 礼 | 4,000 | 福本岳辰、上村岳章 |
| | 事務・通信費 | 12,440 | 事務用消耗品 |
| | 会 議 費 | 7,440 | 担当支部、企画部準備 |
| | 次期繰越 | 11,107 | 企画部預り |
| 合 計 | 566,808 | | |

暮らしの雑学

私の簡単健康法

真澄支部 嶋 津 岳 幸

私は朝起きた時と、入浴後、手の平で左右の腕、両脚、お腹の周辺等、手の届く範囲を入念にマッサージします。ソフトに骨をもむ感じで行うのがコツですが、しばらくすると身体全体が暖かくなってきます。

お金も場所もいらず、気の向いた時に行なえば良いので、おかげさまで2年程続いております。そのためでしょうか風邪も引かなくなり又、夜はぐっすり寝ることが出来ます。

俳句

滝の坂支部 佐久間 岳 爽

初蝶や沢のひかりを越え来たる
芽吹きたる撫のうらなる水のこゑ
篝り火のほろほろ崩れ桜守

一色支部 上 野 花 風

線路わきタンポポゆるる林はじめ
梅古木をほろ長けて美しき
三極や花かんざしと挿しくれし
青饅や貝の紅色さえにけり
花のもと静に化身の舞扇

| 会員のいびき | | 入会 | |
|--------|---------------------|-------------------|------------------------|
| 329 | 知念 義裕 (滝の坂) | 川崎市川崎区藤崎1-11-3 | ☎044-733-1621 紹介者 佐藤節山 |
| 330 | 角田 一男 (相洋) 再入会 (有山) | 葉山町一色1664 | ☎046-875-1469 |
| 331 | 照沼 夏江 (渚) | 葉山町長柄1461-240-101 | ☎046-875-5499 紹介者 上村岳章 |
| 退会 | | | |
| 305 | 雑賀照子 (悠吟) | | |

短歌

真澄支部 星 野 岳 輝

バイバイと手を振る母は優しげに
幼なげなるが故に哀しき

病癒えし友と並びて水仙の
花眺めつ、しばし黙しぬ

秒針の微かなる音聴きながら
寝入る冬の夜雨降り初める



編集後記

平成19年度も今月で終わります。色々な事があつた年度でした。単独団体として認可され、70周年記念大会を盛大に終え、新年度へバトンタッチです。みんなでスタート台に立ってまた「よいドン」です。今年の桜の花芽もようやくふくらんで、じつと北風と戦っています。本年度は、役員改選の年でもあります。碩心会も一層の飛躍をすする時です。沢山の投稿をお待ちしております。 広報部

| 20年 3月現在 | 会 員 数 |
|---------------|---------|
| 葉 山 地 区 | 1 2 8 名 |
| 逗 子 ・ 大 船 地 区 | 9 9 名 |
| 合 計 | 2 2 7 名 |